國発行元 鹿沼市貝島町652-39 鹿沼新聞プラザ宇賀神 代表 字質神酬子 TEL 0289-64-4100 FAX 0289-64-3987

月 5

深海久雄さん 深海木工 日光市小来川

号

んこう下駄、ひょうたん

どった障子を組み入れた

な修行の5年間だった。休

文字通り血の滲むよう

〔鹿沼休刊日新聞〕 通刊48号

「力必達」「一求」「乾 /ームで人気呼ぶ・42歳) ◎ けんこう下駄」(健康

深海 久雄 さん

工房に掲げられた額が

間伐材を利用し、土踏

ながら話を伺った。 山あいの一角、奥さんと ている。小来川の静かな カナリヤに迎えられ、工 深海さんの心意気を語っ 房の深海作品群に囲まれ 神棚、欄間、書院、け 版。四枚戸に瓢箪をかた 配慮した苦心の作だ。 はゴムを貼って音響にも 戸」(日光杉を使った豪華 組み込んだ。下駄の歯に まずに当たる部分に竹を ◎「ひょうたん模様・板

方に住み込みで弟子入り

きの、そしておっかない親

を経て今市の全国建具指 に生まれた。小来川小・中 年、小来川に姉3人の長男

導員、高山利一という腕利

したのが15歳の時。

り入れた数々の立体構図 模様の板戸、遠近法を取 の細工物。深海ワールド 人となりとその作品 模様を取り入れた幅18 大作。43歳) 0×高さ75センチ・技術 ◎「ジャンボ神棚」(格子

に圧倒される。

荘の格子戸。各地の寺社 ある引戸が完成・51歳) 術の粋。與行きと立体感 に日光連山を描く組子芸 作品 「林道」 (林道の背景 ◎遠近法を取り入れた

板戸、俳優勝新太郎の別

大仏次郎宝物館 (鎌倉)の

国会議事堂内の建具、

もジャンボ・50歳) ◎「木工作業体験」(小

てくる生卵か納豆は最大の オカズ。かき回して何倍に も増やしてメシが食べられ

コミにも紹介されている。

土なものをあげると—

肌で体感させる。53歳) 来川保育園で子供たちに

建具のマイスター 匠の技をきわめる

建築。これらは深海さん

が手がけた例だが、マス

みは月1回。週1回めぐっ して負けなかったことだ。

年、神奈川県職業訓練大学 会で技能開発賞を受賞、翌 校を修了した。 32歳の時、全国建具展示

外授業を受け持つ。児童館 **神橋のミニチュア、けんこう** 考える会」の講師として課 ▽村おこしにも一役 で制作した日光の陽明門や 鹿沼では「板荷の教育を

聞

購

読

料

は

便

利

な

座

振

替

C

) 術建具工

駄」(雑誌「JTB情報版」) テレビ) らだスッキリ・けんこう下 (雑誌「ウッディライフ」) 全工程紹介」(日本テレビ) NHKラジオ) 深海久雄さんは昭和22 ◎「木は生きている ◎「青竹踏みの要領でか ◎「ひょうたん模様板」 ②一ザ・仕事師](日本 ◎「けんこう下駄作り と、親方から「遅いぞ!何 り楽しみだったという。 してる」と怒鳴られる。 から一日の修行が始まる。 ▽一本立ち る畑で取れた作物が何よ て裏の畑で体を休めている の辛さに便所に行くと言っ れて、終いには手のひらが 腐りかかってくる。あまり 20歳の時、出品した作品 時々母親が届けてくれ 道具研ぎばかりやらさ

育協会副会長、日光市ソフ

尊者協議会理事、日光市体

トボール協会理事長など。

競争(障子の仕上げ数)を 人同士で建具の製作本数 に工房を開き独立した。 して働き25歳にして現在地 団地の木工所に建具職人と 6年後、鹿沼市樅山や木工 で栃木県知事賞を受賞。 鹿沼時代の思い出は、職 1年のお礼奉公をした 深海語録より) のないデッサンを描いて

作に取り組んでいる。 滝、神橋、中禅寺湖などを 今、合併した新・日光市 今後の課題と夢は、究

しい日々を送る深海さん。 を楽しみにして工房を後 うべき作品の出来上がり の申し込みの電話が入る忙 の個展を開くこと。 図の完成と集大成として 「新・日光万華鏡」ともい 取材中にも盛んに取材

▽今後は―

あしらった組子障子の製;塩づくり体験、さっそく を記念して男体山、華厳の、然の家で、体験活動を実

極の遠近法による立体構 *h*,

食事後の薬ひと粒鳥曇 みなみ町 俳

句

会

ぬま俳壇

花びらや妻のショールをなおす人 水音のすきな母なり桃の花 上殿町 荷 小林 広瀬 染宮ミイ子 (主宰) 清志 翔

花見酒酔へばなを増す里訛り

日古町 榆木町

松島としお

体験の機会を与えている。 指導員、栃木県スポーツ指 部科学省認定B級スポーツ 会公認スポーツ指導員、文 も貢献。現職は日本体育協 を触れさせることで貴重な 地元にはスポーツの面で

テレビや雑誌では―

以上が下野新聞で紹介

たからだ。毎朝、5時に起き

下駄などを児童・生徒に手

職人の神様「太子」様に拝礼

した後、道具直しと手入れ

なんとか出来上がる。それ一生に海の体験をさせる臨 が自分流さ!」(木の匠」海自然教室を実施してい そのくらいやらないとモー〈臨海自然教室〉 くやれる。その落差が激してい人数ですが、翌日から たびれるのもいいもんだ。一ます。 ▽想像力と創造力 ノはまとまらない。そして いからくたびれる。でもく一元気いっぱい活動してい 取り組む。そうすると楽し!た。11人とちょっと寂し があるわけじゃない。答え、ましょう。」との歓迎の言 剣道は3段の腕前。 最初にはっきりした形

施しました。第1日目は、 が茨城県鉾田市の海浜自 ます。そのトップをきっ て、板荷小学校の4年生 鹿沼市では、4、5年 帰路につきました。 4年

ルド水族館の見学をして 洗に移動し、アクアワー ました。第3日目は、大 寒さも忘れて活動してい 冷たい風が吹いてくる中、 取り組みました。海から いろいろな作品つくりに つくり、スコップや手で ました。砂の造形活動で は、砂浜に大きな砂山を

名前はココア 女の子で~ス わたしは小川詠美で~す

わたしってかわいい?! 若草にある夫婦(めおと)にきてい ます。ここは居酒屋さんです。ココアは、可愛くて可愛くても うたまりません。ママにおねだりして絶対に飼いたいです。

宇賀神酣子

水をくみ、上鍋 海辺に行って海

葉で入学式が終了しまし す。一緒に仲良く勉強し 返事ができ、6年生の、 緊張しながらも元気よく の洋服に身を包み、少し 仲間入りしました。新調 〈11人が仲間入り〉 11人の新入生が元気よく 学校は楽しいところで 4月12日の入学式には、 ーつくりと砂の 2日目は、カレ 帰りました。第 ずつ分けて持ち 塩が残り、少し ずかに色づいた と、鍋の底にわ ながら煮詰める 間、薪を燃やし に入れて約1時

トハイキングの活動をし 造形活動、ナイ したようです。

配していたお母さんがた きた子供たちを見て安心 も元気いっぱいに帰って しかも2泊3日、少し心 生で初めての宿泊体験 ていきます。

新しい業種、日進月 ご一報下さい。これ 月晴れの空へ舞い上 とんぼ」は快調に五 歩の世界に光を当て からも新しい市場、 ご希望の方は当社へ 面のインタビュー欄 っています。1・2 間もなく50号。「たけ 日」がスタートして も見事でした。「休刊 に染めたつつじ祭り 野・城山公園を真紅 沼市に加わった栗 やってきました。 花とみどりの季節が さつき祭り。鹿沼に

遊歩道池を目指せば蝌蚪生まる 佐藤紀生子 おしらせ 行日は6月11日(第2年) 「たけとんぼ」次号の発 日曜)の予定です

メッセージ